

〈デジタル化の成熟と放送、インターネット〉報告

GALAC・4月号・付録
 2008年4月6日発行(毎月1回6日発行)
 昭和43年3月8日第三種郵便物許可
 〒160-0022
 東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
 TEL (03)5379-5521/FAX (03)5379-5510
 ホームページ <http://www.houkon.jp/>
 Eメール houkon@houkon.jp
 編集・田代勝彦

ほうこん

題字・清水英夫

**新役員選挙投票は、お済みですか？
 3月25日締切りです。お忘れなく！**

2月理事会報告

◇「GALAC」について

6月号は、放送に関わる「賞」の特集。新旧審査員の座談会、各賞概要の資料から、その存在意義などを探る。表紙は、三上博史。

◇選奨事業委員会

第45回ギャラクシー賞の下期と年間の審査を、3月から4月にかけて開始する。ラジオの応募作品で、著作権関係の問題が起きているので、今後各部門ごとに確認の書式を検討する。

◇企画事業委員会

2月20日に開催した「シンポジウム2008」は、旬の講師陣が揃ったこととデジタルの先行きを見定めたいというニーズがマッチし、参加者270名と満席の大成功を収めた。地域放送局から76人(大阪・名古屋を含めると116人)と最大で、放懇のシンポジ

ウムが地方への情報提供の役割を担っていることが鮮明になった。

収支決算は、支出の削減効果もあり、年間の収益見込みをクリアした。今後の課題として、より広い会場でインターネットの設備があること、セミナーなど勉強会との使い分けなどが上げられた。(詳細な報告は、次頁を参照)

◇ギャラクシー賞贈賞式について

プロジェクトチームの総合演出を担当する嶋田親一理事より提案。45回目の節目を迎えたが、贈賞式の段取りは従来通りを踏襲し、きっちり90分に収める。大きな変更は、パーティ会場が狭く不評だったので、会場を贈賞式場の反対側スタールームに移し、ホワイエ(ロビー)にも大型スクリーンを設置し、飲食コーナーも設けて、ホワイエを有効に活用する方法を試みる。司会陣は、長野智子さんを軸に検討中。

◇第45回ギャラクシー賞特別賞
 理事会の委嘱を受け、グラントデザイン小委員会が、「第45回記念・志賀信夫賞」の設定を答申したが、志賀理事長が「今は、そのタイミングではない」と固辞し、今回は見送ることとした。

なお、テレビ放送55年の歴史の中で、顕彰に値するものがあれば、さらに検討することとした。

◇放懇理事選挙の件

選挙管理委員は、谷口和巳さん、桧山珠美さん、三原治さんに委嘱し了解を得た旨報告があった。

◇会費滞納者について

1月31日の納入期限までに、2名の方から連絡がなかった。今後さらに問い合わせた上で、「GALAC」の送付を中止することにした。

◇次回の理事会

3月26日(水)午後6時30分より
 「出席」志賀信夫、音好宏、田代勝彦、小田桐誠、市村元、入江たのし、岩本太郎、兼高聖雄、隈部紀生、坂本衛、篠原俊行、嶋田親一、滝野俊一、永田俊和、橋本隆、藤久ミネ、堀木卓也

電通常務取締役・松下康さんの登壇で、広告会社からの参加者がアップした



特別講演のトップバッターは総務省政策統括官・中田睦さん



WOWOW代表取締役社長・和崎信哉さんは有料放送におけるデジタル展開を披露



日本版YouTubeといわれるニコニコ動画。その魅力を社長の杉本誠司さんが語った



無線のブロードバンドWiMAXを運営するKDDIの片岡浩一さん



気鋭のメディア学者として注目を集める国際大学GLOCOM研究員の鈴木謙介さんが「デジタル新サービス」を総括

放鬆シンポジウム開催 270人参加の熱気

企画事業委員長 隈部紀生

恒例のシンポジウムを2月20日ホテル・ルポール麹町で開催した。今年は放送のデジタル化が成熟期を迎え、インターネットによる新しいデジタルサービスが進展する状況の中で放送をとらえることを目指した。

最初に総務省の中田陸政策統括官が放送と通信の総合的体系について講演し、レイヤー制導入を説明して、2月15日電気通信審議会に具体的な内容を諮問したので結論が出しだい一般の意見を聞くこと述べた。

続いて電通の松下康常務が「広告から見たテレビとインターネット」について「今後の広告はメディアの特性を考えてコミュニケーションの設計をし、見る人に関係ないと思われないことが大事だ」と語った。

またWOWWの和崎信哉社長は有料放送のデジタル展開について「上質をキーワードに映画、スポーツ、単発ドラマだけでなく、ドキュメンタリーの番組も制作していく」とコンテンツの重要性を強調した。

シンポジウムの後半ではインターネットを使った3つの新しいデジタルサービスの戦略について説明を聞いた。

会議記録

〔2月〕

19日 選奨・ラジオ定例部会
26日 選奨・テレビ月評会
27日 出版編集委員会
29日 理事会

投稿のお願い

会報「ほうこん」では、会員の皆さまのご意見を反映させるため「投稿欄」を設けております。どんな意見でもかまいませんので、ぜひご投稿ください。投稿の字数は4000字程度でお願いいたします。eメール(houkon@houkon.jp)もしくはファクス(03-5379-5510)にてお送りください。お待ちしております。(事務局)

正会員名簿を作成します!

2年に1度の更新をします。「回答書」を同封しておりますので、ご記入をお願いします。今回から回答フォームをホームページにもつくりましますので、ネットのほうの方が便利の方は、ご利用ください。個人情報保護には十分に配慮しますのでご協力をお願いします。(事務局)

去年から動画サービスを始めたアクトビラの久松龍一郎副社長は「テレビの画面でリモコンを操作しながらブロードバンド動画を見られる特性を生かして、ハイビジョンの映画や番組を売り物にしていきたい」と話した。

また去年12月に次世代の高速無線通信事業の全国展開が認められたワイヤレスブロードバンド企画の片岡浩一取締役は「大容量で移動にも強いWiMAX方式で来年からサービスを始め、ブロードバンド接続を広めたい」と語った。

ニワゴの杉本誠司社長はニコニコ動画について「投稿された動画を見て画面にコメントを書き込むサービスですすでに500万人以上が登録している。著作権問題にも配慮しながら多面的に展開して動画コミュニケーションを目指したい」と話した。

最後に後半の司会をお願いした国際大学グローバルコミュニケーションの社会学者鈴木謙介さんが全体をまとめて「インフラの整備とコミュニケーションの活性化がお互いに補い合って進展することが重要だ」と締めくくった。

今回のシンポジウムは参加申し込みの出席がよく、締め切り前に満席になったが、補助席を用意し270人の方々に聞いていただいた。途中で帰る人も少なく会場には熱気が立ち込め、アンケートでも内容の評判がよかった。

ギャラクシー賞 マイベストTV賞 2008年2月度 投票について

ギャラクシー賞マイベストTV賞2008年2月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した〈正会員専用 投票用紙〉でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

マイベストTV賞 携帯サイト、オープンしました! 投票もこちらから!

<http://www.houkon.jp/m>



ギャラクシー賞マイベストTV賞 月間ノミネート番組発表!

- 12月度
- ・歌姫 TBS
- ・第58回 NHK紅白歌合戦 NHK
- ・M-1グランプリ2007 テレビ朝日

おしらせ

テレビ「制作・表現名人」を囲む “小さな集い”のご案内

テレビで「今」を表現している特上の「名人」を囲んで、そのウラ・オモテの苦勞、その人の人生を膝を交えてたっぶり、こっそり聞いてしまおうという、突っ込み好きの表現大好きな小さな集い。

お気軽においでください。

人—監督・石橋冠(元日本テレビ)
作品—「点と線」(テレビ朝日)
時—2008年3月15日(土)午後6時半～
場所—東京ウイメンズプラザ2F
03-5467-1711
(東京メトロ「表参道駅」B2出口。
国連大学に向かって右側の小道入り右)
参加費—1,000円
出欠—石井清司事務所
TEL・090-9333-1633
FAX・03-3594-1633
世話人—放送批評懇談会有志



会場は270名の参加者で満席に



会場はホテルポール麹町



「デジタル新サービス」ではコーディネーター(鈴木)と講師がバトル



久松龍一郎さんはアクトビラが開く新しいテレビライブをアピール